【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【公開番号】特開2018-37421(P2018-37421A)
【公開日】平成30年3月8日(2018.3.8)
【年通号数】公開・登録公報2018-009
【出願番号】特願2017-234227(P2017-234227)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｖ　19/00　　(2006.01)
Ｆ２１Ｓ　 2/00　　(2016.01)
Ｆ２１Ｙ 115/10　　(2016.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｖ　19/00　　２３４
Ｆ２１Ｓ　 2/00　　２３０
Ｆ２１Ｙ 115:10

【手続補正書】
【提出日】平成30年8月1日(2018.8.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第一の光源側取付部と第二の光源側取付部とが配置される長手形状の光源部と、
底面を有し、前記底面と対向する位置に前記光源部の一部によって通過されている開口を形成する長手形状の本体部と、
前記開口の長手方向における一方の端部の縁に配置され、前記開口の長手方向における他方の端部から前記開口の長手方向における前記一方の端部に向かう方向に前記第一の光源側取付部が差し込まれていることで前記光源部を前記本体部に固定させる第一の本体側取付部と、
前記底面に配置され、前記第二の光源側取付部を前記開口から前記底面に向かう方向に引き上げて前記光源部を前記本体部に固定させる第二の本体側取付部と、
を備える照明器具。
【請求項２】
前記第二の本体側取付部は、
前記第一の本体側取付部によって前記光源部の長手方向の一方の端部が前記本体部の長手方向の一方の端部に取り付けられている状態であり、かつ、前記光源部の長手方向の他方の端部と前記本体部の長手方向の他方の端部とが離隔している状態から、前記本体部の前記他方の端部に前記光源部の前記他方の端部を固定させる請求項１に記載の照明器具。
【請求項３】
前記第一の本体側取付部と、前記第二の本体側取付部とは、
板材で形成された請求項１または請求項２に記載の照明器具。
【請求項４】
前記第一の光源側取付部は、
前記光源部の長手方向の一方の端部に配置され、前記第一の本体側取付部とバネ力で係合し、
前記第二の光源側取付部は、

前記光源部の長手方向の他方の端部に配置され、前記第二の本体側取付部とバネ力で係合する請求項１から請求項３のいずれか１項に記載の照明器具。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
この発明の照明器具は、
第一の光源側取付部と第二の光源側取付部とが配置される長手形状の光源部と、
底面を有し、前記底面と対向する位置に前記光源部の一部によって通過されている開口を形成する長手形状の本体部と、
前記開口の長手方向における一方の端部の縁に配置され、前記開口の長手方向における他方の端部から前記開口の長手方向における前記一方の端部に向かう方向に前記第一の光源側取付部が差し込まれていることで前記光源部を前記本体部に固定させる第一の本体側取付部と、
前記底面に配置され、前記第二の光源側取付部を前記開口から前記底面に向かう方向に引き上げて前記光源部を前記本体部に固定させる第二の本体側取付部と、
を備えることを特徴とする。